

大項目	目標	取組内容	取組指標	取組評価	目標に対する成果指標 (アンケート回答率 94%)	成果評価		
プラン2 学力の向上	児童・生徒一人ひとりの学ぶ意欲を高め、確かな学力を定着させます。	学習カルテを基に児童・生徒と面談し、一人ひとりの学習のつまずきや学習方法について、指導する。	4:対象となる全学級(全教員)で行った。	3	4:生徒授業自己評価、生徒学校評価(9~11)、生徒生活アンケート(7, 8)、保護者学校評価(7, 9, 11)の平均が90%以上	3		
			3:80%以上で行った。					
			2:60%以上で行った。					
			1:60%未満であった。					
		算数・数学到達度をステップ学習チェックシートで児童・生徒、保護者に知らせる。	4:学期に2~3回知らせた。	2			3:生徒授業自己評価、生徒学校評価(9~11)、生徒生活アンケート(7, 8)、保護者学校評価(7, 9, 11)の平均が80%以上	
			3:学期毎に知らせた。					
			2:年度間に1回は知らせた。					
			1:お知らせできなかった。					
		学習補助員等による算数・数学・英語の補習を実施する。	4:対象児童・生徒への出席を全教員が働きかけた。	3				2:生徒授業自己評価、生徒学校評価(9~11)、生徒生活アンケート(7, 8)、保護者学校評価(7, 9, 11)の平均が60%以上
			3:80%以上の教員が働きかけた。					
			2:60%以上の教員が働きかけた。					
			1:60%以下の教員が働きかけた。					
		授業改善推進プランを、授業に生かす。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	4	1:生徒授業自己評価、生徒学校評価(9~11)、生徒生活アンケート(7, 8)、保護者学校評価(7, 9, 11)の平均が60%未満			
			3:80%以上が回答した。					
			2:60%以上が回答した。					
			1:60%未満であった。					
		基礎学力の定着を目指し、定期考査前に、専任教員と学習補助員が協力して、国語・社会・数学・理科・英語の五教科の補充授業を実施する。	4:毎回五教科すべて実施した。	3				
			3:80%以上の実施率であった。					
			2:60%以上の実施率であった。					
			1:60%未満の実施率であった。					

これまでの取組 今後の改善策	学校関係者記入欄	
	評価	コメント
<p>教室環境と授業規律を維持し、ICTを積極的に活用して個別最適な学習を提供した。また、定期考査前の補習や学校支援地域本部の学習講座を実施した。</p> <p>関連する学校自己評価の成果指標(昨年度90.6%)は80.4%となった。今回は調査項目を加えている。昨年度の調査項目では92.3%であり昨年度を1.7ポイント上回っている。加えた項目の中で生徒生活アンケート「家や図書館で、普段読書をしている(朝読書の時間以外)」が59.1%(昨年度51.5%)と特に低く課題である。</p>	A	<p>「定期考査に向けて計画的に取り組んだ」という生徒が昨年度よりかなり増加したのは、考査前の補習や学校支援地域本部による学習講座の実施があったからだと思えます。また、読書をよくする生徒の割合が低いのは、忙しい日々を送っているからだろうと推察します。心を落ち着かせるためにも朝読書の時間は大切にされたらよいと感じました。</p> <p>一人1台タブレットを積極的に活用して学習が行われ、情報活用能力の向上の様子が見られました。生徒学校評価(11)の肯定評価が向上しており、自ら進んで学習に取り組む態度が養われていると思えます。</p> <p>・読書の形が紙から電子媒体に移行しつつあり、実際の数字はもっと高いような気がします。</p> <p>・昨年度の調査項目では今年度のポイントが上がっているのは良い点だと思えます。調査項目を加えた評価が今後上がっていくと良いと思えます。</p> <p>・紙媒体による情報収集力が大人も子供も減少している風潮は改めなくてはならないと思えますが、個人個人の意識をどう向上させるかは難しい問題です。</p> <p>・授業参観をさせていただき、生徒が意欲的に学ぶ姿に感心しております。</p> <p>・数学のステップ学習チェックシートについては活用されているとはいえ、形式的なものになっているように見えます(保護者の視点から)。定期考査前の補習など学習サポートの講座が学校内で行われていることは有難いです。生徒アンケートの中で読書習慣が低いとのことですが、タブレットやスマホが当たり前の環境下で、家庭でも改善が難しい点なのでよほど意識しないと変わらないと感じます。</p> <p>・学校、家庭との連携強化を感じます。</p> <p>・生徒の学校評価から、授業はわかりやすく、先生は勉強について丁寧に対応してくれることがわかりました。授業参観では落ち着いて学習に取り組んでいる様子が見られました。学習補助員の補習は継続してお願いしたいです。</p> <p>・生徒学習方法が多様化しているように感じる。読書は電子媒体を含めるともう少し上がってくるかもしれないと感じた。</p> <p>・時間のない中、先生方の努力に感謝します。</p>
	9	
	B	
	4	
C		
1		
D		
0		

- A : 自己評価は適切である
- B : 自己評価はおおむね適切である
- C : 自己評価は適切ではない
- D : 評価は不可能である